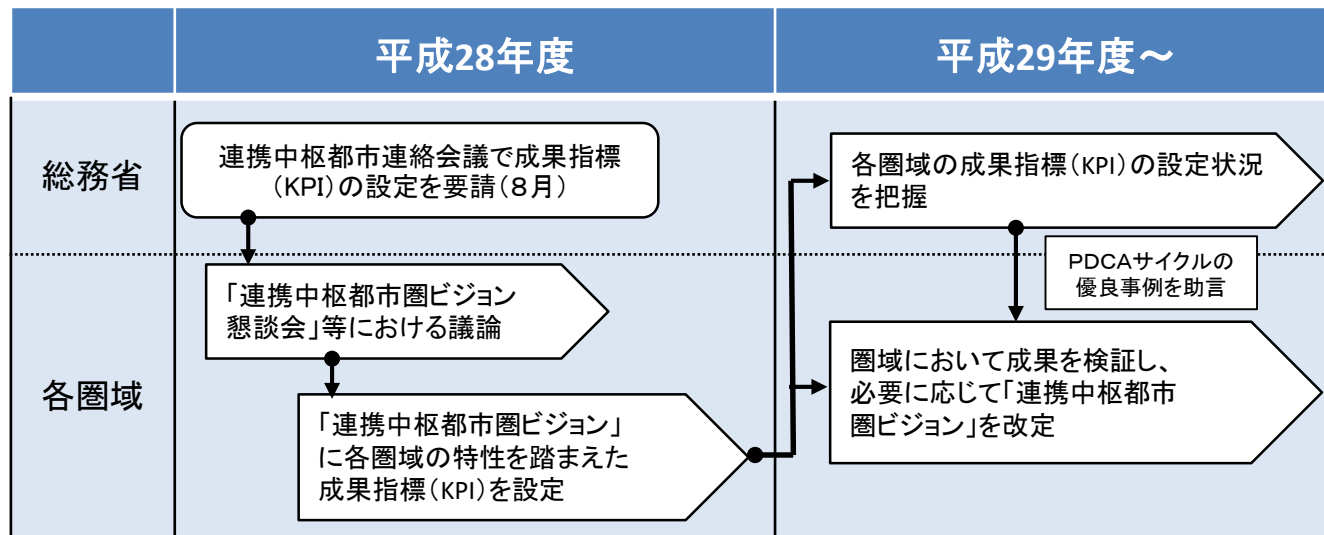


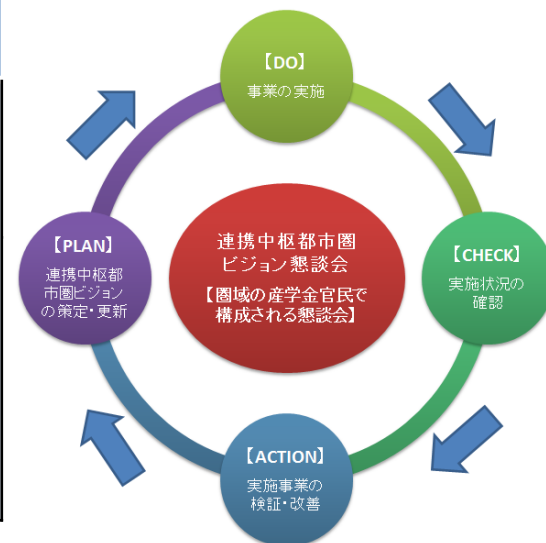
連携中枢都市圏における成果指標（KPI）の設定について

- 連携中枢都市連絡会議（平成28年8月18日開催）において、総務省より各圏域に対し、平成28年度中に、各圏域の特性を踏まえ、施策や事業に応じて成果指標（KPI）を設定するよう要請。
- 令和元年4月現在形成されている全ての圏域（32圏域）において、施策や事業に応じた成果指標（KPI）を設定。

【成果指標（KPI）の設定等のスケジュール】



【各圏域における施策や事業の検証】



KPI 設定圏域における設定状況（要綱上の取組で分類）

ア 圏域全体の経済成長のけん引	設定圏域数
a 産学官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	26
b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	32
c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	29
d 戦略的な観光施策	31
e その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	3

イ 高次の都市機能の集積・強化	設定圏域数
a 高度な医療サービスの提供	24
b 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	31
c 高等教育・研究開発の環境整備	22
d その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	5

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	設定圏域数
A 生活機能の強化に係る政策分野	
a 地域医療	18
b 介護	14
c 福祉	24
d 教育・文化・スポーツ	24
e 土地利用	8
f 地域振興	24
g 災害対策	22
h 環境	22
B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
a 地域公共交通	17
b ICTインフラ整備	8
c 道路等の交通インフラの整備・維持	11
d 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	11
e 地域内外の住民との交流・移住促進	27
f aからeまでに掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る連携	7
C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
a 人材の育成	17
b 外部からの行政及び民間人材の確保	3
c 圏域内市町村の職員等の交流	16
d aからcまでに掲げるもののほか、圏域マネジメント能力の強化に係る連携	11

※令和元年4月時点で形成されている32圏域に対して行った調査等により作成

連携中枢都市圏の取組とKPIの設定例について

圏域全体の経済成長のけん引

○ 圏域の産業支援機関の設立(アb)

(備後圏域連携中枢都市圏(福山市))

- 産業支援機関「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz」を設立し、圏域の中小企業の売上向上・創業支援に重点を置いた経営相談を実施。
- ※ H28.12の開設からの相談件数は、延べ5,379件(H31.3時点)で、H30年度の月平均相談件数は、前年度の1.27倍。利用者の満足度は97.8%。

KPI

粗付加
価値額

基準値: 9,575億円(H25) → 目標値: 10,500億円以上(R1)
現状値: 10,841億円(H29)

○ 「播磨地域ブランド」の確立(アc)

(播磨圏域連携中枢都市圏(姫路市))

- 播磨圏域の選りすぐった多彩な特産品や地場産品を統一感をもったブランド「豊穡の国はりま」として展開し、首都圏を中心とした国内外の消費者やバイヤーに発信。播磨圏域全体のイメージアップによる地域活性化につなげる。
- ※ 令和元年度からは、播磨の魅力をより明確に打ち出すため、新たに「醸す 造る 播磨」を掲げ、「醸造」をキーワードに播磨地域産品のブランド力強化を図る。

KPI

地域ブランド
登録事業者数

基準値: 141者(H27) → 目標値: 184者(R1)
現状値: 189者(H30)

高次の都市機能の集積・強化

○ 圏域の看護職員確保対策(イa)

(備後圏域連携中枢都市圏(福山市))

- 看護師資格を有する離職者を対象とした再就職支援セミナーを開催。参加者のうち33名が再就職(H31.2時点)。
- 看護職の業務や看護職員養成施設等を紹介した啓発冊子やHPを制作し、啓発冊子は圏域内の高校へ配布。

KPI

看護職員の
圏域内就職率

基準値: 58.4%(H26) → 目標値: 68.8%(R1)
現状値: 63.8%(H30)

○ 広域的な交通網の形成促進(イb)

(こおりやま広域連携中枢都市圏(郡山市))

- 鉄道、路線バス等の地域交通の課題等を検討し、高齢者や交通弱者の移動手段の確保や利用しやすい交通網形成による利便性の向上を図る。
- 圏域自治体によるニーズ調査・検討
- モビリティマネジメントによる連携(デマンド交通の実証実験等)

KPI

公共交通
利用者数(※)

基準値: 約1,111万人(H30) → 目標値: 約1,139万人(R5)

(※)圏域内のJR有人駅及び圏域内複数市町村をまたぐバス路線「地域間幹線系統」の利用者数

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○ 保育の広域利用の拡大事業(ウAc)

(長野地域連携中枢都市圏(長野市))

- 多様な保育ニーズに応えることにより、子どもを産み育てやすい環境を圏域全体で構築するため、病後児保育施設の広域受入を実施。
- H30年度は担当者会議と視察研修会を開催し、医療機関等に案内チラシを配布。

※ H30年度の病後児保育広域受入施設は6施設、受入数は合計228人

KPI

病児・病後児保育
事業参加機関数

基準値: 2施設(H28) → 目標値: 4施設(R1)
現状値: 6施設(H30)

○ 圏域のドクターカー運行(ウAa)

(八戸圏域連携中枢都市圏(八戸市))

- 圏域の中核病院である八戸市立市民病院にドクターカーを配備し、高度医療機器を整備。心肺停止など重篤状態の救急患者に迅速に対応出来る救急医療体制を構築。

※ ドクターカーによる劇的救命(予測救命率50%以下の患者が助かること)は174件(H31.3時点)

KPI

心肺停止傷病者の
一ヶ月後の生存率

基準値: 7.2%(H27) → 目標値: 7.5%(R2)
現状値: 3.7%(H29)

出動件数

基準値: 1,439件(H27) → 目標値: 1,500件(R3)
現状値: 1,558件(H31.3時点)